

つげしょう 柘植小だよ!

2026 (令和8) 年 2月 2日



第11号

伊賀市立柘植小学校

HP二次元コード 校長 松本 徹

つげ ふゆ ぞんぶん たの 柘植の冬を存分に楽しもう

1月下旬から2週間近くに渡って、今シーズン最強寒波が日本列島にやって来ています。この間、柘植地域は雪の降る日も多くあり、子どもたちが安全に登下校できるかを心配する日が続いています。しかし、子どもたちは学校に着いてしまえば、気持ちはもう雪遊びのことでいっぱいです。雪玉を転がして大きな雪だるまをつくる子たちもいれば、雪合戦に興じる子たちもいて、それぞれに柘植の冬を楽しんでいます。

がつ ぎょうじよていと 2月の行事予定等

<2月>

- 4日 (水) 5年生みえスタディ・チェック
- 6日 (金) 委員会活動
- 10日 (火) 教育ボランティア会議
- 11日 (水) 建国記念の日
- 12日 (木) 育友会一斉登校指導
- 13日 (金) 学習参観・学級懇談会
14:25下校
- 18日 (水) 水曜集会
- 24日 (火) 育友会運営委員会
- 25日 (水) 児童会前期企画委員選挙
- 26日 (木) 6年生いがまち3校交流会
- 27日 (金) 六年生を送る会

<3月>

- 13日 (金) 卒業式
- 25日 (水) 修了式

<4月>

- 6日 (月) 着任式・始業式
・入学式 (予定)



がっこうひょうか きょうりょく 学校評価へのご協力ありがとうございました

2学期末に実施した学校診断票 (保護者アンケート) 並びに育友会「保護者マニフェスト自己診断」へのご協力、大変ありがとうございました。それらの集計結果を、児童アンケートの結果とともにお知らせします。テレビやゲーム、タブレットなどの使用時間である「スクリーンタイム」に関わる項目が、昨年度以上に厳しい結果となっており、今後小学校はもちろんのこと、柘植地域全体で改善すべき大きな課題となっています。

がっこうしんだんひょう じどう けっか 学校診断票（児童アンケート）の結果より

◇結果は、「Aよくあてはまる」「Bややあてはまる」「Cあまりあてはまらない」「Dまったくあてはまらない」のうち、肯定的回答であるAとBを合わせた割合を示しています。

No.	アンケート内容	1学期末	2学期末
1	学校へ行くのが楽しい	86%	90%
2	先生や他の人の話を、よく聞いている	93%	89%
3	忘れ物に気をつけて、提出期限も守っている	88%	87%
4	テレビやゲーム、タブレットなどの時間を決めて、それを守っている	73%	63%
5	勉強や話し合いの中で、自分の考えを伝えている	84%	85%
6	授業の中で進んで考え、友だちとともに学ぼうとしている	90%	90%
7	漢字や計算の勉強を、最後まであきらめずにやっている	90%	93%
8	本をたくさん読むよう心がけている	85%	80%
9	学年に応じた勉強時間と読書時間を守って、家庭学習に取り組んでいる	84%	80%
10	自分にはよいところがある	80%	82%
11	困っている友だちのそばで考え、解決するように行動している	90%	91%
12	友だちの一枚文集を読んで、その子の考えていることや生活がわかってきた	90%	91%
13	日記で、自分の考えや生活について、たくさん書けるようになってきた	85%	87%
14	自分から進んであいさつをしている	87%	90%
15	清掃活動に一生懸命取り組んでいる	91%	91%
16	学級活動や委員会活動、はばたき班活動などで、みんなが気持ちよく過ごせるようにしている	92%	92%
17	聞きとり活動や体験活動を通して、自分の将来の仕事や生き方について考えている	80%	81%
18	言われてからするのではなく、自分から仕事を見つけて動いている	83%	82%
19	登下校や学校生活の中で、「安全」について考えて行動している	91%	92%
20	困りごとや不安なことを、先生たちや友だち、家族などに相談することができる	80%	82%

多くの項目で80%以上の肯定的回答となっていますが、いくつかの項目で80%を下回っていたり1学期よりも2学期の数値が下がっていたりするところがありますので、3学期はその改善に取り組んでいきます。

中でも、4「テレビやゲーム、タブレットなどの時間を決めて、それを守っている」（1学期末73%、2学期末63%）は、昨年度の結果（1学期末75%、2学期末79%）よりもかなり悪化している項目になります。9「学年に応じた勉強時間と読書時間を守って、家庭学習に取り組んでいる」（1学期末84%、2学期末80%）とも関連する内容であり、帰宅後の時間を有効に使えているかどうか心配になる結果となっています。今一度、各ご家庭で「スクリーンタイムに関する約束」を確認いただくとともに、その約束が守られているかどうかや帰宅してから就寝するまでの時間をどのように有効に使うか等について、親子で話し合う機会をもってくださいませようお願いします。

がっこうしんだんひょう ほごしゃ けっか
学校診断票（保護者アンケート）の結果より

No.	アンケート内容	R6年度	R7年度
1	お子さんは、「授業がわかりやすい」と感じている	86%	90%
2	お子さんは、学校へ行くのを楽しみにしている	92%	87%
3	お子さんは、人の気持ちや命の大切さを考えて行動している	95%	92%
4	お子さんは、時と場に応じた言葉づかいができています	80%	81%
5	お子さんは、登下校の時や自転車に乗る時などに、安全に気をつけている	91%	97%
6	学校は、安全教育や避難訓練などを通して、子どもの安全確保に努めている	93%	92%
7	学校は、子どもの基礎学力の定着を大事にしている	93%	93%
8	学校は、子どもに学習や読書の習慣が定着するよう指導している	90%	85%
9	学校は、子どもに社会性が身につくよう指導している	88%	85%
10	学校は、子どもの能力や努力を公平に評価している	91%	87%
11	学校は、子どもたちが楽しめるよう学校行事を工夫している	86%	83%
12	学校は、人権を大切にされた教育活動に取り組んでいる	91%	92%
13	学校は、保護者からの連絡や相談に丁寧に対応している	91%	88%
14	学校は、通信やホームページなどにより、情報発信に努めている	90%	91%
15	学校は、保護者の意見を取り入れて、学校改善に努めている	91%	87%
16	家庭では、お子さんに早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身につくようにしている	89%	89%
17	家庭では、スクリーンタイムについての約束を決めて、お子さんが守れるようにしている	69%	77%
18	家庭では、お子さんと進んであいさつをかわしている	93%	95%
19	家庭では、お子さんと話す時間をつくり、がんばったことやよかったことをほめている	88%	92%
20	授業参観や学級懇談会、運動会や学習発表会、講演会等へ参加している	94%	92%

アンケートの中で唯一80%に届かなかった項目が、17「家庭では、スクリーンタイムについての約束を決めて、お子さんが守れるようにしている」（令和7年度77%、令和6年度69%）になります。この結果は、児童アンケートのスクリーンタイムにかかわる項目の結果と重なるものであり、学校と家庭が力を合わせて改善していく内容となります。

最近では、スマートフォンやタブレットの使用が低年齢化しており、楽しく便利な道具であると同時に、世界とつながっているリスクも伴う道具であるという認識をもたないまま電子機器を操作する子どもたちが増えています。この点については、子どもたちが情報モラルを身につけられるよう、学校と家庭が協力して取り組んでいく必要があります。

また、2「お子さんは、時と場に応じた言葉づかいができています」（令和7年度81%、令和6年度80%）の項目については、子どもたちの社会性にも関係する項目になりますので、学校でも様々な機会をとらえて指導していきたいと考えています。

がっこうしんだんひょう ほごしゃ じゆうきじゅつ かいどう 学校診断票(保護者アンケート)自由記述へのご回答

がっこうぜんたい にかかわる 質問やご指摘等、たいへんきちゅうなご意見をいただきありがとうございます。学校全体に関わる質問やご指摘等、大変貴重なご意見をいただきありがとうございます。いただいたご意見を真摯に受け止め、教職員全員で共有するとともに、今後の教育活動にいかしてまいります。なお、抜粋した回答を掲載しますが、不明な点等がありましたら、担任または管理職までお問い合わせください。よろしくお願ひいたします。

1. 学校への感謝・応援のメッセージ…ありがとうございます。とても心強く思っています。
2. 行事予定について…学校のホームページの情報更新がスムーズにできておらず、申し訳ありません。運動会、柘植小フェスティバル、授業参観等の主な行事(案)については育友会の総会要項に実施日を記載していますが、変更の場合もありますので、随時ホームページでご確認いただけるよう改善していきます。
3. 読書活動について…子どもたちが本に親しめるよう、読書貯金通帳や先生による読み聞かせなどの取組をしていますが、つげっこライブラリーや学級文庫を充実させるなど、さらに子どもたちの読書への関心や意欲が高まるように環境を整えていきます。
4. 家庭学習強調週間について…子どもたちが生活習慣を整え、学習習慣や読書週間を獲得するために保小中が連携して実施しているこの取組に、お仕事等お忙しい中、年間を通してご協力いただきありがとうございます。スクリーンタイムについては大きな課題が残るものの、子どもたちにとっては自分の生活習慣について考える大切な機会となっています。中学校区全体での取組になりますので、引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

いくゆうかい ほごしゃ じこしんだん けっか 育友会「保護者マニフェスト自己診断」の結果より

No.	内 容	R6年度	R7年度
1	一枚文集や通信、学校だよりに関心をもち、クラスや学校のことについて家族で話します(目標 80%以上)	82%	80%
2	子どもとゲーム・テレビの時間や携帯電話(スマートフォン)の使い方を話し合いで決めて、家族の会話を増やします(目標 80%以上)	78%	84%
3	家庭学習強調週間には声をかけ合って読書に取り組みます(目標 65%以上)	68%	70%
4	子どもとともに、気持ちのよいあいさつや返事をする習慣を心がけます(目標 100%)	97%	96%
5	学校や地域の懇談会、催し物や伝統的な活動、奉仕的な活動に積極的に参加します(目標 85%以上)	89%	79%

ぜんたい とお 全体を通して、それぞれのご家庭において、保護者の皆様ができるだけ子どもとの関わりをもととしていただいていることを感じています。情報化社会が進展し、家庭の中でもスマートフォンやタブレットなどを使用する機会が多くなっているかと思いますが、少しの時間でも結構ですので電子機器を置いていただいて、その日の学校での出来事やお子さんが今夢中になっていることなどを聴くようにしていただければと思います。

じゆうきじゅつ か 自由記述で書いていただいた内容については、事務局で共有するとともに、今後の育友会活動の参考にさせていただきます。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

